

平成26年度水生生物のすみかづくり

ゴリ押し漁に挑戦!!

ゴリのすみか調べ

木組み斜路式箱型魚道

荒神口落差工

丸太町橋

丸太町落差工

木組み階段式箱型魚道

京の川の恵みを活かす会



鴨川のゴリ (ヨシノボリ)

ゴリ押し漁によるゴリのすみか調べ

「京の川の恵みを活かす会」では、鴨川や桂川において、京の食文化を支えてきた天然もののアユ、サツキマス（アマゴの降海型）、ハエ（オイカワ）、ゴリ（ヨシノボリ）などの生息・生育・繁殖の手助けとなる活動に取り組んでいます。

今回は、鴨川に生息するヨシノボリ（ゴリ：ハゼ類の形をした淡水魚を指す地方名）に着目します。鴨川では1950年代までゴリ獲り専門の漁師がいたとのことですが、その後、ゴリの生息数が減少し、川の食材としての利用も途絶えています。

そこで、鴨川ゴリの復活に向けた具体的な活動方針を探るため、「ゴリ押し漁」によるゴリの生息状況を調べるとともに、ゴリの生息環境の現状と課題についての学習会を開催します。奮ってご参加ください。



ゴリ (ヨシノボリ) の佃煮

日時

平成26年9月13日（土）午前9時30分～正午

※ 平成26年8月9日（土）は、台風11号接近のため延期しました。

場所

鴨川 三条大橋下流の落差工（三条落差工）から丸太町橋下流の落差工（丸太町落差工）までの区間

※ 集合場所は、三条落差工の右岸（下流を向いて右側）です。

主催

京の川の恵みを活かす会（略称：活かす会）

※ 活かす会は、学識者、漁協（賀茂川、京淀川、保津川）、市民団体、行政（京都府、京都市）などの協働組織です。

参加

当日自由参加

※ 小学生以下は大人同伴でご参加ください。

内容

ゴリ押し漁の実践による生息状況調査

①御池大橋下流、②丸太町落差工下流の計2箇所
で実施し、ゴリの捕獲数を比較

ゴリの生息環境の現状と課題についての学習

ゴリ押し漁の実践後、ゴリにとって好ましい生息・生育・繁殖条件を学び、ゴリを増やすためのすみかづくりやゴリが遡上できる魚道デザインなどについて意見交換

その他

- ・各自濡れてもよい履物を持参
- ・大雨の予報、増水の場合は中止

※ 中止の場合は、当日の朝8時までに活かす会ホームページのTOPにお知らせいたします。

問合せ先

活かす会事務局（NPO 法人森林再生支援センター内）

TEL/FAX 075-432-0026 E-mail: ikasukai.all@gmail.com

URL: <http://ikasukai.web.fc2.com/>

※ 今回は、鴨川のゴリ生息調査のために、特別な許可を得て実施いたします。



ガウ曳き!

昔ながらの漁法「ゴリ押し漁」が、特別に行われるみたい...
そう簡単に、捕まるわけにはいかないぞ!!



獲り!

ゴリ押し!